

日々の仕事多くのやりがい実感

「専門学校の実習で訪れたときに、職場の雰囲気を感じ、アクー
ル若狭への就職を決めました」と話
すのは、同施設で介護福祉士として
働く津田さんです。入所者が自立し
た生活を営めるよう、一人ひとりに
合わせた日々の介助に努めています。
幼いころから祖母と同居し、高齢者
との関わりが好きだという津田さん。
「体への負担もありますが、利用者さ
んとの触れ合いの中で、それを上回る
楽しさがあり、毎日の仕事で多くのや
りがいを感じます」とほほえみます。



勤務先 公立小浜病院組合 介護老人保健施設 アクール若狭
津田 千春 さん
(23 歳・野代)

「仕事を始めて3年目。先輩職員か
ら教わることはまだまだあります」
と向上心をみせる一方で、就職当時
に比べると、最近では心に余裕を持
てることも増えており、「少しは成長
できているかな」とはにかみます。
入所者の不安を少しでも解消させ
たいと介助に励む津田さんに、今後
の目標を尋ねると、「思いやりの心を
忘れずに、施設の利用者やその家族、
職員のみならず信頼されるような、
親しみのある介護士になりたいです」
と真つすぐな瞳で答えてくれました。

きりり！小浜人

一致団結で地域を活性化

阿納体験民宿組合は、平成18年に
地域の漁家民宿が連携して設立。地
元で養殖したマダイを「釣って、さ
ばいて、食べる」体験施設『ブルーパ
ーク阿納』で、県内外から教育旅行を
受け入れています。

「本来は競争相手である同業者が、
一致団結して独自の体験メニューを
提供している。結束力の強さが最大の
強みです」と語る下壺さん。設立時か
ら昨春まで、同組合長として先頭に立
ち、県外の学校を訪問して誘致活動な
どを行ってきました。

活動の甲斐あつて民宿の宿泊者は
年々増加。所得向上と後継者確保につ
ながり、地域全体が活性化しています。
平成30年、都市と地方の往来推進を
表彰する「オーライ！ニッポン大賞」
の受賞や、集落活性化の優良事例「ディ
スカバー農山漁村の宝」に選定される
など、全国から注目を浴びています。
下壺さんは「取り組みの効果はむし
ろこれから。訪れた子どもたちが大人
になって、その子を通してまた来てく
れるような体験を提供したい」と、今
後の意気込みを語ってくれました。



阿納体験民宿組合 相談役
下壺 忠彦 さん
(71 歳・阿納)

本当の自分を出し合える部活に

「幼いころから絵を描いて遊ぶこと
がが好きでした」と話す部長の
横井くん。一度は運動部へ入部しまし
たが、1年生の秋に転部を決意。以来、
芸術部で絵画を中心とした、さまざ
まな創作活動に取り組んできました。
部では、男女合わせて19人が所属。
それぞれの得意分野で各コンクール
への出展や、学校行事などで使用す
る小道具の制作などを行っています。
「形あるものは刻々と変化をみせま
す。絵画の魅力はその一瞬を切り取っ
て残せるところ。また、アレンジを加

えることで、自分の好きな世界にす
ることもできる」と目を輝かせます。
作品の制作に夢中になり時間を忘
れることもあるという横井くん。顧
問の宇野先生も、「作品づくりや部活
動に対して、人一倍の熱い思いを持っ
ている」と今後の活躍を期待します。
今後について、「部員たちが、趣味
や興味など本当の自分を出せる場所
にして、今以上に楽しい部活動にし
たい」と抱負を語り、「見た人が笑顔に
なり、喜んでもらえる絵を書き続け
ていきたいです」と話してくれました。



芸術部 部長
横井 歩夢 くん
(小浜第二中学校2年生)

燃えろ！青春！部活道

新チームでも目指せ全国

若狭高校かるた部は、前身の同好
会のころから、全国大会に出場する
県選抜選手を輩出するなどの実績が
評価され、この春、晴れて部に昇格。
さらに今年度は、同好会時代も含
めて初めて団体戦で県大会優勝を飾
り、7月には近江神宮（滋賀県）で
開かれる全国大会に出場しました。
部には現在、1・2年生17人が在籍。
部長を務める宮崎さんは、部の雰囲気
を「上下関係なく意見を言えて、試合
の振り返りや何気ない会話で盛り上
がる。仲の良い部です」と話します。

「札の取り方などの技術が上達する
ことや、部員みんなとたわいない
おしゃべりをしている時間が楽しい
です」と語る宮崎さん。
尊敬する人に「秋に引退した、3
年生の先輩たち」を挙げ、「みんな強
くてアドバイスも的確。何より、部
の良い雰囲気築いてくれた」と話
すように、仲間たちと過ごす時間を
とても大事にしています。
「新チームでも勝ち上がって、来年
も全国大会に出場したい」と、今日
も仲間たちと切磋琢磨しています。



かるた部 部長
宮崎 英理香 さん
(若狭高校2年生)

酒蔵のある風景（小浜酒造）

小浜のお酒といえば、銘酒「わかさ」ですね！

古くからの伝統や文化が残り、五穀豊穡を祈る祭りがたくさんある小浜。地域で作られた米や水で、地域の神様に感謝できることはとても美しい文化だなあと、楽しそうに酌をしている姿を見て思います。

ところが、小浜では一時、酒造りが途絶えてしまいそうになりました。市内で唯一酒造りを受け継ぐ上中井区の小浜酒造では、2年目の仕込みが始まり、蔵の前を朝早くに通ると、白い水蒸気がもくもく。「ああ、お酒造りがはじまったんだなあ」と思うと、今年のお酒の味が待ち遠しい！希望者は、なんと無料で酒かすを分けてもらえます。皆さんもぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



【アクセス】

小浜市中井 18-14

ＪＲ小浜駅から車で 20 分

小浜ＩＣから車で 20 分

【文と写真】

地域おこし協力隊 ハシモト



我が学び舎 ～閉校に向けて～

平成 31 年 4 月に「小浜美郷小学校」に統合される 4 校を紹介

※次月号では、「遠敷小学校」・「宮川小学校」を紹介します

松永小学校



● 学校のあゆみ

明治 6 年 栄松寺を借りて啓心尋常小学校として創立

昭和 3 年 太興寺区より現在地へ移築

昭和 22 年 松永小学校と改称

昭和 35 年 伊勢湾台風のため北館内部改築

昭和 40 年 新校舎が完成

昭和 44 年 門前分校が閉鎖

平成 7 年 校舎の大規模改修が完了

平成 18 年 グラウンドの整備・拡張が完成

● 地区の紹介

松永地区は、市の東部、北川とその支流である松永川流域に位置し、名勝三番の滝や国宝の明通寺をはじめ豊かな自然と文化遺産に恵まれた歴史深い地域です。

地区には 8 つの集落があり、「すり鉢やいと」や「田の神祭り」などの伝統行事が伝えられており、平成 29 年には豊作を願う「虫送り」が復活しました。



● 学校の取り組み

松永小学校では、学校目標『よく学び、たくましく未来を拓く松永^{ひら}っ子の育成』のもと、仲間とともにねばり強くがんばれる子の育成を目指しています。また、自然と環境を生かした体験活動を実施して、地域を知り、地域を愛し、地域に誇りを持てるような教育活動を進めています。

中学校や小浜美郷小学校に行っても、ふるさとに誇りを持ち松永っ子らしさを出して活躍できるよう、児童に確実な力をつけて送り出すための教育に取り組んでいます。

国富小学校



● 学校のあゆみ

明治 6 年 羽賀寺の一部を借りて隆成小学校を創立

昭和 9 年 学校を統一し国富尋常高等小学校を創立

昭和 26 年 小浜市立国富小学校と改称

昭和 28 年 台風 13 号により大きな被害を受ける

昭和 49 年 鉄筋コンクリートの 3 階建校舎が完成

昭和 55 年 校門前庭園の完成に併せて校庭を整備

平成 6 年 創立 60 周年記念式典を挙行

平成 20 年 校舎の大規模修繕が完了

● 地区の紹介

市の北東部に位置する国富地区には 10 の集落があり、中央には北川が流れ、周りの山々など豊かな自然に囲まれた田園地帯です。羽賀寺や太良庄荘園跡地など多数の旧跡がみられます。

地区は、昭和 39 年に野生のコウノトリのヒナが国内で最後に確認された場所で、コウノトリの里づくりを進めています。



● 学校の取り組み

国富小学校では、『～いきいき !! キラキラ !! ～なかまとともに顔晴る国富^{がんば}っ子』を教育目標に掲げ、児童にとって、がんばる気持ちが湧いてくる学校を目指しています。

最終年度を迎え、「伝え合い、学び合う児童の育成」を研究主題として取り組むと同時に、体力づくり、あいさつ運動、読書活動にも力を入れ、児童が「自信と希望」を持って、中学校や小浜美郷小学校へと進んでいけるように精一杯の教育活動を行なっています。

健康生活のとびら

神経発達症（発達障害）について

神経発達症（発達障害）って？

神経発達症（発達障害）とは、自閉症（自閉スペクトラム症）、ＡＤＨＤ（注意欠如多動症）、限局性学習症（学習障害）、精神遅滞などの総称です。生まれつき持っている発達特性で、保育園や学校などの集団生活や、家庭内で困ってしまう場合に、これらの診断がつくことがあります。

発達外来で保護者などからよく聞く意見を紹介して、コメントをします。

①「発達障害は病気ですか？」

私は病気という捉え方ではなく、特性や体質的なものと考えています。その人が暮らす文化や時代、場所など、それぞれの環境によって『障害』にもなりますし、逆にその特性が集団の中では『リーダーや英雄』にもなれるのです。過去の偉人さんたち（現在も）をみれば、容易に想像できますね。

②「うちの子は病気じゃないから、病院には行かなくてもよい！」

病気ではなく特性です。子どもの『困り感』を共有するために、学校の先生や



杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ ☎ 52・0990

小 児 科
原 慶 和 医 長

③「自分が子どものころもそうだったで気にしていません」

親子なので、性格も発達特性も似ることは多いです。成人になってから発達症と診断される場合もあります。自分が子どものころそうであっても、現在特に問題なく過ごせているのであれば、生活の中では診断がつくほど『障害』ではなかったのでしょう。環境が自分に合っていれば、困難なことを乗り越えられるように成長します。

子どもに何らかのやりにくさが生じているようであれば、病院の発達外来や発達相談を受けられる地域の児童発達支援センターなどに相談してください。